

- 15 章 14-16 節「¹⁴ 私の兄弟たちよ、あなたがたに関してこの私は確信しています。あなたがた善意にあふれ、あらゆる知識に満たされ、互いに訓戒し合うことができることを。¹⁵ ただ私は部分的にかなり大胆に書きました、それはあなたがたにもう一度思い起こしてもらうためです。それは神が私に与えてくださった恵みをとおして、¹⁶ 異邦人のためにキリスト・イエスに仕える者となるためでした。私は神の福音のための祭司の務めを果たし、異邦人を神に喜ばれるささげものとしています、それは聖霊によって聖なるものとされたものです」
- 15 章 17-19 節「¹⁷ ですから私はキリスト・イエスにあって誇りを持っています、それは神に向かうことです。私は敢えて話そうとは思いません、¹⁸ 異邦人を従順にするために、キリストが私を通してなしてくださったこと以外のことを。それはことばと行いを通して、¹⁹ しるしと不思議を行う力において、神の御霊の力においてのことです。このようにして私はエルサレムから始めて、イルリコに至るまでの巡回においてキリストの福音を満たしてきました」
- 15 章 20、21 節「このように私はキリストの名がまだ語られていないところに福音を伝えることを切望しているのは、ほかの人が据えた土台の上に建てないためです。それはこう書かれておりです、『彼のことを告げられていなかった人々が見るようになります。また聞いたことのなかった人々が悟るようになります。』」
- 15 章 22-24 節「²² こういうわけで私はあなたがたのところに行くことを何度も妨げられてきました。²³ しかし今は、これらの地域に私は場所を持っていません。しかし私は望みを持っています、あなたがたのところに行ってしばらく滞在することを。²⁴ そして望んできました、イスパニアに行く途中で、あなたがたのところ立ち寄ってお会いし、まずあなたがたとともにて、(心が) 満たされてからあなたがたのところから、かの地に送り出されることを」
- 15 章 25-27 節「²⁵ しかし今は、私はエルサレムに行きます、それは聖徒たちに奉仕するためです。²⁶ それは、マケドニアとアカヤの人々が喜びとしたからです、エルサレムにおける聖徒たちの貧しい人々のために分かち合い(コイノニア)をすることを。²⁷ 彼らは喜んでしたのですが、その人たちへの負目(義務)もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、肉のもの(物質的なもの)において彼らに奉仕する負目(義務)があります。」
- 15 章 28,29 節「それで私はこれを済ませ、この果実を彼らに証印してから、あなたがたのところを通して、イスパニアに行くことにします。²⁹ 私は知っています、あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満ち溢れて行くことになることを」
- 15 章 30-33 節「³⁰ あなたがたにお願いします、兄弟たちよ。私たちの主イエス・キリストを通して、また御霊の愛を通して、私のために神に祈ることにおいて、私とともに力を尽くすことを。³¹ それは私がユダヤにいる不信仰な者から救い出さ

れるため、またエルサレムに対する私の奉仕が聖徒たちに喜んで受け入れられるためです。³² それによって、神のみこころを通して、喜びをもってあなたがたのところに行き、あなたがたとともに憩いを得ることができます。³³ 平和の神があなたがたすべてとともにいただきますように。アーメン」

< 関連引用聖句 >

- (ローマ 14:10)「それなのに、あなたはどのようにして、自分の兄弟をさばくのですか。またあなたはどのようにして自分の兄弟を見下すのですか。それは、すべての私たちが神のさばきの座に立つことになるからです」
- (ヘブル 10:5,10)「いけにえやささげものを、あなたはお望みにならないで、わたしにからだを備えてくださいました…このみこころにしたがって、私たちは聖なる者とされています。それはイエス・キリストのからだがただ一度、献げられたことによるのです」
- (ローマ 1:5)「すべての異邦人(あらゆる国の人々)の中に信仰の従順をもたらすためです」
- (ガラテヤ 2:11-13) パウロはペテロ(ケファ)に「面と向かって抗議」「異邦人といっしょに食事をしていた」、「ヤコブのところから」食物律法を大切にするユダヤ人クリスチャンが来ると、「割礼派の人々(食物律法を守る人々)を恐れて異邦人から身を引き、離れて行った…バルナバまで、その偽りの行動に引き込まれてしまいました」
- (イザヤ 52:15-53:6 抜粋)「見よ。わたしのしもべは 栄える。高められ、上げられ、はるかにあがめられる。多くの者があなたを見て啞然とするほどに、その見栄えも失われて人のようではなく、その姿も人の子らと違っていたのだが…。そのように、彼は多くの民を驚かせ、王たちはその前で口をつぐむ。彼らは、まだ告げられなかったことを見、まだ聞いたこともないことを悟るからだ。^{53:1} だれが私たちの聞いたことを信じたか。主(ヤハウェ)の御腕は、だれに現されたのか…見とれるような姿も、輝きも彼にはなく、私たちが慕うような見栄えもない。蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で 病いを知っていた。人が顔を背けるほど 蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。まことに、彼が負ったのは 私たちの病い、担ったのは私たちの悲しみ…しかし彼は、私たちの 背きのために 刺し通され、私たちの咎(とが)のために 砕かれた。彼への懲らしめが 私たちの平和(シャローム)、その打ち傷が私たちの癒しとなった…主(ヤハウェ)は、彼に負わせた、私たちみなのだ咎(とが)を」
- (ガラテヤ 2:7)「ペテロが割礼を受けいている者への福音を委ねられているように、私は割礼を受けいていない者への福音を委ねられていることを理解してくれました」
- (同 2:10)「ただ、私たちが貧しい人たちのことを心に留めるようにとのことでしたが、そのことなら私も大いに努めて来ました」
- (Ⅱコリント 8:1-4) マケドニアの諸教会は極度の貧しさと試練の中にあつて「聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました」
- (同 8:9)「キリストの恵み」「主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなれました。それはあなたがたがキリストの貧しさによって富む者となるためです」